

平成20年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会  
第2回定期総会議事録

1. 開催日時

平成21年3月8日(日) 15:30~16:50

2. 開催場所

飛騨・世界生活文化センター 食遊館地下1階 大会議室

〒506-0032 岐阜県高山市千島900-1

TEL 0577-37-6161 FAX 0577-35-2251

3. 出席正会員数

620名(出席者 43名、委任状 577名)

4. 議案

- (1) 第一号議案 平成21年度 事業計画(総括)  
平成21年度 学術部事業計画  
平成21年度 精度保障部事業計画  
平成21年度 組織調査部事業計画  
平成21年度 広報宣伝部事業計画  
平成21年度 事務局(事務所)事業計画
- (2) 第二号議案 平成20年度 中間会計報告および平成21年度予算案
- (3) 第三号議案 平成20年度 中間会計監査報告
- (4) 第四号議案 会費の改正について
- (5) 第五号議案 理事の定数変更および任期延長(追加議案)

5. 進行

- 1) 開会の辞 永井 副会長
- 2) 司会者 西村 孝 事務局長
- 3) 会長挨拶 北村 顕 会長
- 4) 議長の選出

議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。

会場内より司会者一任の声があり、司会者は議長として次の2名を指名した。

司会者に対する承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議 長 坪内 順一(高山赤十字病院)  
藤木 誠(下呂温泉病院)

5) 総会役員を選出

議長により書記2名、資格審査委員7名、議事録署名人2名の指名があり、会員の承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

総会役員は下記に示した。

書 記 一柳 好江(岐阜市民病院)  
近藤 眞一(平野総合病院)

## 資格審査委員

- 岐阜地区 玉置 佳澄（岐阜赤十字病院）  
田中 滋人（岐阜市医師会臨床検査センター）  
西濃地区 寺田 浩史（西美濃厚生病院）  
飛騨地区 上垣内 勇（高山赤十字病院）  
中濃地区 三輪 洋嗣（中濃厚生病院）  
西山 紀郎（木沢記念病院）  
東濃地区 小森 康宇（県立多治見病院）  
議事録署名人 川瀬 晴美（岐阜大学病院）  
西村 孝（岐阜大学病院）

## 6) 資格審査委員報告

資格審査委員の玉置委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。正会員数740名中、出席会員数43名、委任状提出会員数577名で合わせて620名で過半数以上となり本会・定款23条により本総会が成立することが報告された。また、正会員数の3/4以上の出席であり定款35条により定款変更の審議も可能であることの報告もなされた。これにより議長は総会の成立を宣言し、審議に入ることとした。

## 7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

### (1) 第一号議案 平成21年度事業計画案について

#### ①平成21年度 事業計画（総括）

平成21年度事業計画の総括を北村会長から報告された。

平成21年度は公益法人認定に向けての準備が最大の懸案事項であると報告された。平成19年6月の独立事務所開設以来、当会の運営が順調に進み、各事業担当責任者からよい評価を得ていると述べられた。

引き続き各担当部門から各事業計画の詳細が報告された。

#### ②平成21年度 学術部事業計画

学術部事業計画について近藤学術部長から報告された。

第58回日本医学検査学会が神奈川県パシフィコ横浜会議センターで平成21年7月30日から8月1日に開催される。本県から一般演題座長3名（微生物、一般、チーム医療）を推薦する。第48回中部医学検査学会が平成21年11月7、8日静岡県三島市にて開催される。メインシンポジウムの「細菌検査の精度管理」を岐阜県が担当する。第49回岐阜県医学検査学会は平成22年3月に西濃地区担当で開催予定。春季拡大研修会は平成21年6月28日大垣市情報工房にて、血液と輸血研究班の企画で開催する。秋期拡大研修会は11月生理研究班の企画で開催予定。各研究班研修会はこのべ44回が計画されている。

#### ③平成21年度 精度保障事業部事業計画

精度保障事業部事業計画について田中精度保障事業部長から報告された。

精度管理、標準化事業および基準値設定の協議会の3本の柱を中心に21年度も事業を進めていくことが報告された。

4月参加受付〆切集計行い、5月第1回標準化試料発送し、6月21日速報の予定。

7月26日精度管理調査と同時に第2回標準化試料発送し、8月23日速報予定。

精度管理調査の結果については結果一覧速報を9月27日に予定。

10月25日第3回標準化試料発送し、11月15日に集計結果速報を予定。

精度管理と標準化の報告会を平成22年1月24日ふれあい会館にて予定。

協議会についても開催があれば会長と参加していく予定。

#### ④平成21年度 組織調査部事業計画

組織調査部事業計画について石郷組織調査部長から報告された。

例年同様に会員名簿の発行を行う。入会率を上げるため、各施設責任者にパート技師を含めた未加入技師数のアンケート調査を行い、未加入技師さんには会長名で会員入会を勧める文書を送付する。公益法人化を見据えて、定款の見直し、変更作業を行っていく。

#### ⑤平成21年度 広報宣伝部事業計画

広報宣伝部事業計画を山本副会長から報告された。

会報は年5回以上の発行を予定している。会員名簿は6月の発行を予定で、理事会および各委員会の議事録も掲載する。岐臨技会誌については、各学会発表者に投稿依頼を行い、学術部と連携して年1回発行する。今年度の会誌は3月末発行予定で校正に入っている。

#### ⑥平成21年度事務局事業計画

事務局事業計画について西村事務局長から報告された。

平成19年6月から事務所が開設され、事務業務が順調に進むようになった旨の経緯が報告された。事務所の資料として、平成20年度の事務所使用状況と備品一覧、開設時からの管理費用が示された。平成21年度も当会の運営が円滑に進むよう、事務処理業務を行っていくことが報告された。各種研修会案内等の発送はメール便で原則毎月20日に発送するが、各委員会の案内は電子メールで運用する。会員皆様の名簿の作成と管理を行う。各委員会の会議場所として事務所の貸し出しを行うが、会員で技師会行事以外でも貸し出しを行う。

### (2) 第二号議案 平成20年度中間会計報告および平成21年度予算案報告

平成20年度の中間会計報告および平成21年度予算案について西山会計部長より報告があった。

中間会計報告は平成20年4月1日から9月30日までについての報告がなされた。

一般会計は収入14,058,831円のうち支出9,622,358円で、差引額は4,436,473円となっており、公益事業比率は37%である。特別会計は前期繰越金6,803,042円が収入額で支出が1,552,366円であり差引額は5,250,676円となっている。

平成21年度予算案としては16,755,000円が計上されている。

### (3) 第三号議案 平成20年度中間監査報告

平成20年度中間監査報告について安部監事より報告があった。

3月4日に岐阜医療科学大学にて、安部、中村両監事により平成20年度中間監査が行われた。会計について平成20年度一般会計、独立事務所特別会計の予算執行は適正であり、収入支出台帳、各帳簿並びに領収書の管理は適正に行われている事が報告された。

### (4) 第四号議案 会費の改正について

会費の改正について北村会長から説明があった。

各地区において説明を行ない意見を伺ってきたので、来年度の改正を目指して、会費値上げ(5,000円まで)の議案を提出された。

独立事務所積立て特別会計の予算1,419万円から事務所を590万で購入し、独立事務所を開設した。事務所運営管理費用が毎年148万円あまり生じ、あと数年で予算も底をつくことになる。平成5年4月に公益法人の認可を受けたが、認定の条件に事務所を持っている事があった。そこで、独立事務所の習得を目指し、平成3年に岐臨技会費を5,000円に改正しており、それから17年間据え置きで経過している。現在、特例民法法人になり、公益社団法人認定の申請にあたり会費改正のお願いをなされた。

以上の第一号議案、第二号議案、第三号議案および第四号議案について審議が行なわれた。

- ・特別会計は事務所を習得するためのものであり、事務所で使用したものは特別会計、事務局で使用したものは一般会計にするのではなく、取得ができている現在は特別会計を無くし、1本化して事務費として明記してほしい。会計部から、今回は中間決算であるので本決算で検討して作成し直すとの答弁がなされた。また会長から追加説明として、特別会計を取り崩して、一般会計に取り入れる事としているが、事務所費用の統計を取りたいため今回は特別会計として報告したとの説明がなされた。
- ・会費の値上げについて、5,000円までの値上げをしたいと説明されたが、具体的な金額を表示してほしい。会長から4月から来年3月までの1年間の決算報告を見て、いくら値上げをしたら上手くいくか会計と検討していきたいと答弁があった。
- ・会費の値上げについて、東濃地区総会での意見が紹介された。会員としては現状の経費の見直しを行って、その検討した結果を伝えて頂きたい。
- ・事業費について、学術の経費が少なくて会員のメリットが実感できない。学術の予算をもう少し増やしてほしい。精度管理の費用がやや多い気がする。との意見があった。
- ・岐臨技での精度管理費用負担を減らすため、標準化の参加費用を値上げしたらどうか。日臨技のサーベイデータが活用できないか。の意見が提案された。
- ・事務所の管理費は仕方がないが、人件費のほうで事務員の出勤が毎日でもよいのではないかの意見が提案された。会長からの返答は、事務員に業務日報を作成してもらっているが、事務業務は毎日多くあるとの事であった。

- ・検討の内容が十分に伝わってこない。

これについては、日臨技総会委任状の回収（手数補助金）・会費の前納制（返納金）を利用し、各委員会の開催案内等をメールで行い、努力はしている。検討内容は広報、ホームページ等で会員に報告するとの答弁がなされた。

以上の第一号議案、第二号議案、第三号議案および第四号議案について、拍手による採決に入り、結果、賛成多数が得られ、本案は原案どおり可決成立した。

#### （５）第五号議案 理事の定数変更、任期延長について（追加審議）

追加審議として、理事の定数変更、任期延長について、議案提出された。

山本副会長より説明があった。

議案書に審議事項として表示されていないが、過去の理事会で周知されて、各地区総会でも議案として討論されているので、追加議案として審議したい。

現在総理事数は30名になっているが、全国的に見て多く、（全国平均は23名程）経費の抑制を含めて24名にして行きたい。事業施行に障害にならないよう主要ポストはそのまま、地区理事を18名から12名（会員数50人に1名の割合を70人に1名にする）とする。

また、理事の役員任期は岐臨技と日臨技が現状では同一でなく異なっており、岐臨技の理事が中臨技役員、日臨技役員を兼ねていると不都合が生じるため、役員任期を1年延長して、日臨技の改選年度と同じ平成22年4月とする。以上の2点について提案説明がなされた。

つづいて追加審議の第五号議案について審議が行なわれ、議長は質疑応答を求めた。会場より異議の発言はなく、挙手による採決に入り、結果、賛成多数が得られ、本案は原案どおり可決成立した。

その後、議長から岐臨技への要望等の会員の意見を求めたところ、次の意見が出された。

- ・県学会抄録集は各施設に数部になっているが全員の会員に配布してほしい。これについては、西山会計部長からできるかぎりご希望にそうようにしたいと答弁があった。近藤学術部長からも会員一人ひとりに配布するのが本来と思うと言われた。また、研究会等の行事予定はホームページの学術カレンダーで情報を得て下さいとの答弁があった。また、研修会で使用した資料をインターネット上で画像として技術的に表示可能で、ダウンロードして印刷できると言われた。これについては学術部としても検討中と言われた。

#### （６）役員推薦について

第五号議案の役員の定数変更、任期延長の審議結果を受けて、平成21年度の役員推薦について、兼子役員推薦委員長より報告がなされた。

##### 1. 会長・副会長・監事

平成22年3月まで任期を延長することで、推薦は行わない。

## 2. 地区理事

理事会の決定事項により、地区理事の定数が変更になるので以下の諸氏が推薦された。

岐阜地区（4名）玉置佳澄（岐阜赤十字病院）多和田嘉明（東海中央病院）

一柳好江（岐阜市民病院）平沢弘行（県総合医療センター）

西濃地区（2名）森仁美（揖斐厚生病院）林博美（メディック）

飛騨地区（2名）藤木誠（下呂温泉病院）上垣内勇（久美愛厚生病院）

中濃地区（2名）三輪洋嗣（中濃厚生病院）青木雄一郎（鷺見病院）

東濃地区（2名）小森康宇（県立多治見病院）山本将毅（土岐市立総合病院）

以上の理事役員の承認について、拍手を以って求めたところ、賛成多数が得られ、承認された。

これにより、平成20年度第2回定期総会での議案が成立し、議長は本総会の役員を解任した。

## 7) 表彰

坪内順一氏（高山赤十字病院）と川瀬晴美氏（岐阜大学医学部附属病院）に功労者表彰が贈られた。

## 8) 閉会の辞 山本 副会長

以上

議 長 印

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印